

# 吹連いばらき

発行所 茨城県取手市山王 1000  
 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校内  
 一般社団法人 茨城県吹奏楽連盟  
 電話 0297-63-5120  
<http://www.iba-sui.jp>  
 発行人 代表 川名孝夫  
 印刷所 山三印刷株式会社



写真提供：(株)フォトライフ 「第23回東関東選抜吹奏楽大会」 大成女子高等学校 (ひたちなか市文化会館)



**「ウイズコロナの1年」**  
 理事長 川名孝夫

令和2年1月16日、国内で新型コロナウイルス感染者が初めて確認されて3年が過ぎました。新型コロナウイルスは季節性がないことから常にその対応に迫られ、この3年間毎年各事業の開催方法を変更し進めてまいりました。吹奏楽コンクールは「中止」「団体毎の鑑賞」「平常」、マーチングコンテストは「2年間中止」「全席指定」、アンサンブルコンテストは「中止」「当日券のみ」「平常」とその時々の対応を迫られました。令和4年度の各大会は概ねコロナ禍以前の状態で開催することができました。参加団体、関係者の皆様のご協力に心より感謝いたします。

コロナ禍で練習は困難を極め、多くのご苦労があったことと推察されますが、出場された各団体はそのご苦労を乗り越え、精一杯の熱い演奏をしてくださいました。特に小学生をはじめ中学生、高校生の皆さんの部活動への思いは強いものがあります。

吹奏楽連盟としてそれに応えるため、この間一生懸命努力した子供たち、ご指導された先生方には、演奏を聞いてくださる方々からの喜びを感じてもらいたいという思いで大会の開催に尽力してまいりました。

ところで、令和4年12月に「茨城県部活動運営方針改訂版」が示され、これからの学校における部活動の形も少しずつ変わっていくこととなります。学校の部活動は地域格差や保護者の経済状態に関係なく、スポーツや文化、芸術など多様な経験を生徒に提供することを目的に始まったものです。しかし、この度の改訂では部活動を学校から切り離して地域へ移行する方向性が示されました。

そのことから令和5年2月の理事会では、茨城県教育委員会担当者同席のもと現場における様々な課題について意見交換がなされました。吹奏楽連盟としてはこれに対応するため、登録規定や参加規程の見直しに取り組み、ひとつひとつの課題に取り組んでいかなければなりません。移行期に当たる令和5年度は随時協議を重ね、会員の皆様一人一人が方向性を見出すきっかけに繋がっていくことを願っています。皆様が一歩ずつ前進していきますよう、ご協力をお願いいたします。

# 一年を振り返って

「貧欲に…」

県立鉾田第一高等学校

市村 真弓

私は、欲深い人間です。願いが叶うと、更にもっともつと、と欲望が膨れあがりまふ。そんな欲深き私は12年前、県南の高校に赴任しました。そこから、地区大会次点という結果が2年続きました。生徒たちは勿論、私も泣きました。悔しいというより、生徒を泣かせてしまった自身の不甲斐なさが情けなかったのです。専門外の吹奏楽は苦手などと言っている場合ではなく、現実を受け止め、ゼロからやり直そうと決めました。浜松の講習会、都内での研修会等、手当たり次第に参加しました。見ず知らずの先生にお手紙を差し上げ、レッスンも仰ぎました。3年目は地区大会を突破し、これまでの悔し涙は嬉し涙に変わりました。しかし欲深い私は、今度は東関東大会に行ってみたくてと、前任校ではどいう頑張っても届くことができず、最後は神頼みで豪徳寺の招き猫までお連れしましたが

叶うことはできませんでした。

志半ばで令和3年度現任教に赴任しました。当初、吹奏楽部の音を聴いた時には、おそらく東関東大会には行けないだろうと感じてしまいました。そして、県大会には進めたものの思ったほどの成績も取められませんでした。令和4年度は、実父の介護が大変になっていたので、私の気持ちは後ろ向きでした。しかし、生徒たちは自分たちで考え行動し、東関東大会へ駒を進めてくれました。私は人に恵まれていると常々思っています。そして、また人から幸せを与えて頂いたと、東関東大会という看板を見ながら、指揮棒を振りました。感無量でした。

また、令和4年度は本校の創立百周年の記念行事が執り行われました。吹奏楽部の演奏は決まっています、3年生が抜け、どうしたら良いかと悩む毎日でしたが、卒業生の力をお借りする案が閃きました。近隣の中学校吹奏楽部の生徒たちも入り、総勢約100名の合同バンドが結成され、大成功となりました。卒業生、在校生、未来の後輩

との絆を感じ、これからの吹奏楽活動の形を垣間見た瞬間でした。

令和4年度は、これまでの集大成のような1年だった気がしますが、これで満足するのではなく、生徒たちと共に学び、さらにもっともつと、と欲深く進んでいきたいと思っています。

## 吹奏楽に携わって

土浦市立大岩田小学校

坂本正道

令和4年度土浦市立大岩田小学校勤務は8年目となり、再任用2年目になります。幸運なことに、昨年度本校は東関東吹奏楽コンクールへ初出場し銀賞を頂きました。また、全国小学校管楽器合奏フェスティバル茨城県大会で県代表として選出され東日本大会で演奏できることになりました。

これまで勤務したつくば市立桜南小学校、つくば市立葛城小学校、美浦村立大谷小学校で金管バンドや吹奏楽部の指導に携わり、自分にとってはとても幸せな日々であったことに感謝しています。

中学生時代に吹奏楽部に所属し吹奏楽の魅力にとりつ

かれたことをきっかけに、私は管楽器の専門家の指導を受け、講習会に参加したり有名校に足を運んだりして手探りで吹奏楽について学んできました。

現在、小学生の子供たちの指導で意識していることは、しっかりと音で音階が演奏できるようにすることです。

そして「正しい練習方法で練習すれば上達できる。上手になればなるほど楽しくなる。」ということを常に念頭に置いています。一人一人が上達すると必ず楽しい音楽につながることを意識付けています。

以前の本校の活動は学校行事、吹奏楽コンクール、デイズニールランドでの演奏、グリンコンサート(定期演奏会)などでした。それがコロナ禍で吹奏楽コンクールが中止となったり、デイズニールランドでの演奏募集が休止となったり、感染防止対策による練習時間や方法の制約があったりもしましたが、意欲を失わず、以前と変わらず楽器を持って練習に励む子供たちの姿に胸が熱くなりました。

働き方改革の影響もあり、以前と比べて活動時間も減りましたが、本校の金管バンド

にとつては充実した年になりました。学校バンドの指導に携われるのも本校が最後になるかと思えます。子供たちと共にこれからも音楽を楽しみたいと思います。

## 合同チームで参加して

筑西市立下館西中学校

長須 洋子

コロナ禍前、私が異動してきた令和元年度は44名の部員と活動していました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響や部活動加入の自由化により、令和3年度は31名。1人しかいないパートもありました。そこで、近隣の学校に声を掛け、合同でコンクールに出ようという話を部員にしました。初めての試みだったので、反対する意見もありましたが、部員の意見もまとまり同じ市内の下館一高附属中と合同でC部門への参加となりました。そして、令和4年度には、事前に連絡をいただいた下館北中も加わり3校合同での参加となりました。

譜読みをしている段階では合同練習は行わず、ビデオ通話を利用して自己紹介や簡単なゲームで部員同士の交流を

図りました。合同練習が始まってからもパート練習やセクション練習には顧問はあまり口出しをせずに部員だけで練習することで、互いの部員が意見を言いやすい雰囲気作りを心がけました。いざ合奏が始まると、他校の部員にどこまで声を掛けていいか悩むこともありました。顧問同士でよく話し合い、乗り越えられた。合奏で顧問が大勢いることで合奏しながら細やかな指導ができるメリットもありました。大変だったのは、3校のテストや学校行事の日程がずれていて、思うように練習できなかったことです。

コンクールで点数を付けていただくのにあさわしいレベルに達していたかというところ、まだまだ課題はあります。しかし、これから部活動が自由加入になったり地域移行したりと今までと活動の仕方が変わっていく中で、合同での参加も一つの選択肢として考えていければと思います。最後に、アンサンブルコンテストの会場入り口で今回合同チームとして吹奏楽コンクールに参加した他校の生徒から「先生！」と呼ばれ、「頑張ってください！」と声を掛けられたとき、『合同で演奏

たくさんの方々に支えられて

北茨城市立磯原中学校

沼田 宏輝

磯原中学校は、令和3年度に華川中学校と統合し、新校舎に移転しました。これまで、たくさんの方々に支えていただきながら吹奏楽部の活動を行ってきましたが、特に令和4年度は、そのことを実感する1年となりました。

今年度の3年生は、入学しからの3年間、新型コロナウイルスの影響を受け続けた学年です。特に1年生の時は、入学してすぐに休校となり、吹奏楽コンクールはじめ、行事が中止となるなど、多くの制限がある中で生活を余儀なくされました。しかし、そのような中でも、できることを考え、努力を惜しまずに部活動に取り組んできました。

そんな3年生が立てた目標が、「感謝を伝える演奏」と吹奏楽コンクールでの「東関東大会出場」でした。日々の練習において、8名の3年生が後輩をサポートしながら努力する姿は、3年間での成長

を感じるのであります。

吹奏楽コンクール当日のステージでは、これまでの練習で積み上げてきた思いを7分間に込めて演奏することができました。演奏後は、達成感に見られ、顧問としてとても嬉しく思いました。そしてついに叶った、東関東大会の出場は、北茨城市内の学校で26年ぶりということもあり、学校関係者だけでなく、地域の方々からも喜んでいただきました。目標の舞台であった東関東大会のステージでは、生徒たちが緊張する様子も見られましたが、演奏が進むにつれて、いつもの磯原中サウンドになっていきました。生徒たちにとっても顧問にとっても、本当に貴重な経験となりました。

また、アンサンブルコンテストでも、コンクールでの経験を生かして、1グループが東関東大会に出場できました。また、地域のイベントや自主企画の演奏会など、多くの方々のおかげで、この1年間活動することができました。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。たくさんの方々の応援を胸に、さら

に向上を目指して、これから

も活動していきます。

コロナ禍の部活動とこれからの展望

城里町立常北中学校

住谷 裕美

コロナ禍で始まった部活動も3年目を迎えました。令和4年度の最上級生であった3年生の部活動は、未知の中で始まり、3年間で不安の中で行ってきました。顧問としての3年間も同様、コロナ禍だけでなく、部活動変革期の中の活動で、困難を極めました。また、顧問の異動もあり、生徒たちは複雑な思いを抱きながらの活動で、私は幾度となく壁にぶつかりました。活動が制限され、演奏の基本や、部活動に向かう姿勢等をこれまで同様に教えることは試練の連続でした。さらに、活動内容への学校や保護者の理解を得ることが難しく、練習に支障が出ることもありました。しかし、そんな中でもできることを探りながら、確実に積み重ねることで生徒たちは少しずつ力を付けてきました。令和3年間は、忍耐でしたが、この3年間は、忍耐で

ました。令和4年度の部員は13人でした。1人でも欠けたら舞台上立つことすら難しい状

況の中で、部員全員で東日本学校吹奏楽大会まで出場できたことは、本当に幸せなことでした。そして、東日本までの各大会を終えるたびに、吹奏楽の活動の大きさに理解を示してくださる方々に教える子たちからの温かい言葉、励ましの言葉は何よりも心に染みました。それは、自分の目指す音への思いを貫く忍耐や音楽を通して繋がる人との心を深く感じさせてくれました。本当に心から感謝しています。それと同時に、頑張っても運動部活動のように理解してもらおうことが難しい吹奏楽への理解を、どうしていくべきかを考えなければいけないとも強く思いました。そうしなければ、この部活動変革期において、吹奏楽部の活動が衰退へとつながるのではないかと危惧しています。

管理職の先生方や教育委員会の皆様、そして、部活動の地域移行化に向けて取り組んでいる方々、どうぞよろしくお願ひいたします。私ができることは数少ないかもしれませんが、少しでも吹奏楽の活動に希望を見出せるのであれば、その一端を担い、貢献していきたいと思っております。

## 各事業部の活動

## コンクール事業部

熊坂 義則

新型コロナウイルス感染症の流行から4年となりました。収束の兆しも見えない中でしたが、令和4年度の茨城県吹奏楽コンクールは、万全の感染症予防対策を講じながら、流行以前と同様の大会運営を行うことができました。これも、吹奏楽連盟の方々や出演された皆様のご協力と、吹奏楽に対する熱い思いがあったからこそだと心より感謝申し上げます。残念ながら欠場や音源審査となってしまう団体もありましたが、表彰式で一喜一憂する出演者の純粋な姿を見て、とても嬉しく感じました。

令和5年度より県大会の会場は、ザ・ヒロサワシティ会館から新しい水戸市民会館に変更となります。楽器の搬出入、出演者の動線等、課題は多くありますが、事前の打ち合わせ等を実施しながら、安心して大会に臨めるよう、事業部を中心に取り組んでいきます。また、教職員の働き方改革に伴った大会係員の確保、部活動の地域移行等、課題は多くありますが、皆様の意見を取り入れ、よりよい運営を目指していきます。今後ともご協力をお願いいたします。

## アンサンブルコンテスト事業部

山田 賢哉

令和4年度は、茨城県アンサンブルコンテストに、地区大会、県大会合わせて579グループという多くの団体が出場しました。11月の地区大会、12月の県大会ともに、各グループの素晴らしい演奏が会場いっぱいに響き渡りました。このコロナ禍において各大会が無事終了できたのは、出演者、各団体関係者、また、係員、補助員として大会運営に携わっていただいた方々、そして、ご来場いただき、熱のこもった演奏にたくさんの方の拍手をくださった多くの皆様のご理解ご協力があったからこそだと思います。この場を借りて感謝申し上げます。

「客席には多くのお客様、ステージでは素晴らしい演奏」この当たり前が継続することを信じて、今後も事業部の運営を進めてまいります。また、より良い運営のために、各団体の皆様の忌憚のないご意見を各地区アンサンブル事業部員までお寄せください。どうぞよろしくお願いいたします。

## マーチング事業部

「できたーよかった?」

令和4年度は何かかマーチングコンテスト県大会を開催することができました。感染症予防対策として、マスクの常時着用、各出演団体間のインターバルを長くとつての本番フロアでのウォームアップ、観客席を初めて指定席にするなど、心配なことが多くありましたが、出演者、観客、運営スタッフ全ての皆様のご協力のおかげで、大きなトラブルもなく、終了できました。心より感謝いたします。令和5年度は、これまで同様感染症への対策に加え、いよいよ始まった部活動改革への対応が急務となります。特にマーチングは、動きと音楽両面での鍛錬が必要です。単純に倍の時間を要するマーチング活動では限られた時間の中で、「マーチングをやりたい」という子供たちの意欲を高めて可能性を広げていけるか、教員の「働き方改革」との両立が求められます。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 財務部

内藤 良

令和4年度の財務部活動をご報告いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテスト、マーチングコンテストの各事業が開催でき、運営積立金を取り崩しながらも前年度と比較して収支が改善する方向です。その上で、参加団体数や参加人数が減少している中、更に部活動の地域移行も含めて、どのように吹奏楽連盟の事業を適切に運営していくかという課題が出てきています。

令和3年度より一般社団法人となり、県の財務とともに各地区の会計も一緒に運営をすることになりました。それぞれの状況に合った形で地区における活動を継続しながら、5地区を含めた県全体で適性な財務面の運営が行えるよう、更に整備を進めて参ります。

皆様には、県ならびに各地区の運営に対して引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 審査部

加藤 勝弘

審査部では、吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテスト終了直後に、審査結果の検討と同時に、次年度の審査員招聘の検討、交渉を行っています。例年、この「吹連いばらき」が会員の皆様のお手元に届く4月には、参加要項・ホームページで吹奏楽コンクールとアンサンブルコンテストの審査員名を公表できるように進めております。

現在、吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストの審査7名で行い、上下カットをすることで、評価の公平性を確保しています。審査は、最も信頼されなければならぬものです。そのため、長期にわたって、同じ審査員に依頼することを避けております。会員の皆様におかれましては、審査員公表後、当該部門の審査員と一切の接触をもつことはできませんことをご理解いただきますようお願いいたします。今後も透明性・信頼性を第一に考えた運営に努めてまいります。

# 各地区の活動

## 県東地区

高橋 哲也

コロナ禍も3年目を迎えた令和4年度。コロナ前と同様という訳にはいきませんが、徐々にいろいろな行事を行うことができるようになってきました。

各校からの要望が高かった初心者講習会については、地区全体で集まることはまだ難しいと考え、各市ブロック毎に1〜2パート限定で実施をしました。

吹奏楽コンクールとアンサンブルコンテストでは、限定的ではありましたが、他校の演奏を鑑賞することができるようになりました。他の学校の演奏を聴くことがしばらくなかった、または初めてだという生徒たちも多かったと思います。聴くことで、自分の演奏力向上につながることも多いと思いますので、よい機会となったのではないでしようか。

まだまだ感染拡大の収まる気配はありませんが、できる範囲で加盟団体のみなさまのお役に立てるような運営ができればと思っています。

## 県南地区

郷 恵子

新型コロナウイルス感染症の収束を見ない令和4年度、運営面において、見直せるところは見直し、通常の大会に近づく運営ができました。収支の面では、参加費の値上げ、集客による収入他、細かい部分の節約によって収支の改善に努めました。

新たな試みとしては、指導者講習会にバズセッションを取り入れたことです。部活動の在り方が変わっていく中、顧問の先生方がどのように工夫して運営しているか、各校の実態はどうなっているのかなどについて、吹奏楽コンクールとアンサンブルコンテストの説明会に合わせて2回実施しました。情報を共有することや悩みなどを聞いてもらうことで、先生方自身が前向きな気持ちで部活動に取り組めるようになったのではないかと思います。

今後はさらに部活動のあり方が変わっていくと思いますが、吹奏楽を通して生徒たちが成長していける機会を多く作って行けるよう頑張っていきたいと思っています。

## 県西地区

稲毛田 一輝

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の蔓延により、多くの制約はありましたが吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストを無事に開催することができました。出場する団体間や奏者同士で切磋琢磨をし合える大会となり、加盟団体の皆様にたくさんのご協力をいただきました。感謝を申し上げます。

普及推進事業としては、初心者講習会の実施は目途が立ちませんでした。これは地区吹奏楽の技術力向上に対して多大な影響を及ぼしています。今後は部活動改革（地域移行）が進む情勢にもなっており、自治体より具体的施策が判明していない中ですが、県西地区では14地域（1地域3校程度）に割り振り、年度末に向けて中学校合同練習会を行うことを予定しました。全ての地域が実施できるとは限りませんが、地域移行を見据えた近隣中学校間の交流・吹奏楽活動の幅広い普及発展と指導者の育成を目的に取り組んでいます。今後も、加盟団体の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いしたいと思います。

## 県北地区

門三野 洋平

コロナ禍での事業運営も3年目になりましたが、皆様のご協力により、令和4年度の事業を終えることができました。ことに感謝申し上げます。

吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテストともにまだ制限があったものの、滞りなく開催をすることができました。特に有観客で開催することができたことは、他校の演奏を鑑賞できる機会が激減していた生徒たちにとって、新鮮で刺激があり、充実したのもになったことと思います。

一方で、初心者講習会やリーダー研修会の実施は見送りました。来年度も状況を見ながら、実施可能かどうかを検討していきます。さらには、中学生から大人までのつながりを大切にし、生涯学習の一端も担っていきたくと考えています。

働き方改革や部活動の地域移行など、直面している課題は山積していますが、「生徒と音楽を愛する人のため」を常に心に置き、令和5年度も事業の計画・運営をしていきたいと思っています。

## 中央地区

塩澤 恭平

令和4年度は、吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテストを有観客で開催することができました。関係者の皆様には感染症予防対策をはじめとし、多くのご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

さて、私たちは「事業をできる限り開催する」を合言葉に運営を進めてきました。大会当日は、会場から拍手が響き、音楽の感動が増すことを改めて実感した1年でした。一方、新型コロナウイルスの流行が収まらず、出演を辞退しなければならぬ団体もありました。今後も、予防対策に万全を期しながら、大会を運営していくことが必要であると思っています。

令和5年度も、茨城県吹奏楽連盟発展のために、地区を挙げて取り組んでまいります。子供たちが演奏する機会が、お互いの素晴らしい演奏を聴き、そして、拍手を送る、そういう機会が早く戻ることを心から願っております。これから一層頑張りますので、ご協力をお願いいたします。

# 大会の記録

※下線は代表団体

u003c/divu003e
 

<b>▶第62回茨城県吹奏楽コンクール</b> 地区大会 (県東) 7月24日(日) 神栖市文化センター (県南) 7月22日(金)~24日(日) 大昭ホール龍ヶ崎 (県西) 7月23日(土)、24日(日) 結城市民文化センター (県北) 7月16日(土)、17日(日) 常陸太田市民交流センター (中央) 7月23日(土)、24日(日) ひたちなか市文化会館 県大会 8月6日(土)~10日(水) ザ・ヒロサワ・シティ会館			
	金 賞	銀 賞	銅 賞
小学生の部 朝日賞 常磐	三の丸、酒門、常磐、村松	大岩田、笠原、佐野、白方、水海道、千波	
中学校の部A部門 朝日賞 伊奈	田彦、勝田一、千波、伊奈、谷田部東、多賀、 取手一	東海、大久保、勝田三、土浦三、水戸四、 結城、佐野	谷和原、美浦、土浦四、古河二、水海道西、 鹿島、愛宕、牛久南、けやき台、神栖二、 下稲吉
中学校の部B部門 朝日賞 泉丘	並木中等、大島、下館南、磯原、常北、大子、 水戸一、泉丘、水戸二、境一、笠原	駒王、御所ヶ丘、茨城、千代川、総和、 銚田北、金砂郷、友部、日立一高附属、 取手二、並木、守谷、水海道、石下西、 三和北、常澄	戸頭、春日学園、日の出、藤代南、下妻、 銚田南、神栖四、桜、伊奈東
高等学校の部A部門 朝日賞 常総学院	取手聖徳女子、常総学院、大成女子、霞ヶ浦、 茨城、明秀日立、水戸女子	桜ノ牧、水戸三、日立一、水戸一	古河三、日立北、牛久栄進、那珂、竹園
高等学校の部B部門 朝日賞 竜ヶ崎一	並木中等、緑岡、伊奈、銚田一、古河一、 竜ヶ崎一、土浦二、佐和	神栖、古河中等、東洋大牛久、水城、八 千代、取手松陽	茨城キリスト、土浦一、日立二、下妻一、 鹿島、多賀
大学の部A部門 朝日賞 茨城	常磐、茨城		流通経済
職場・一般の部A部門 朝日賞 日立市民	聖徳 WE、水戸市民、古河シティ、日立 市民、水戸交響	常陸太田市民、ひたちなか交響、日本ウェ ルネス、阿見	水戸三高OB、取手交響、愛♡Wind、土浦
<b>▶第28回東関東吹奏楽コンクール</b> 高校A 9月3日(土) 宇都宮市文化会館 中学A 9月4日(日) 宇都宮市文化会館 高校B 9月10日(土) ザ・ヒロサワ・シティ会館 小学 9月11日(日) ザ・ヒロサワ・シティ会館 中学B 9月17日(土) 千葉県文化会館 大、職・一 9月18日(日) 千葉県文化会館			
小学生の部	村松	酒門、笠原、常磐、三の丸、大岩田	白方、佐野
中学校の部A部門			田彦、伊奈、千波、勝田一
中学校の部B部門	泉丘、常北、水戸一、大島	大子、下館南	磯原、並木中等
高等学校の部A部門	常総学院	霞ヶ浦、取手聖徳女子	大成女子
高等学校の部B部門	竜ヶ崎一、並木中等	佐和、緑岡	土浦二、銚田一、伊奈、古河一
大学の部		茨城	常磐
職場・一般の部		水戸市民、日立市民、聖徳 WE	古河シティ
<b>▶第22回東日本中学校吹奏楽大会</b> 中学 10月8日(土) 東京・府中の森芸術劇場 中学校部門			
		水戸一、泉丘	常北
<b>▶第70回全日本吹奏楽コンクール</b> 高校A 10月23日(日) 愛知・名古屋国際会議場 高等学校の部A部門			
			常総学院
<b>▶第59回茨城県マーチングフェスティバル</b> 8月21日(日) ひたちなか市総合運動公園総合体育館			
A部門中学校の部 朝日賞 大島	大島		
B部門中学校の部		岩瀬西、勝田二	
A部門高等学校以上の部 朝日賞 大成女子	大成女子、大洗	常磐、明秀日立	
小学生バンドフェスティバル 朝日賞 石川	浜田、石川		
<b>▶第21回東関東小学生バンドフェスティバル・第28回東関東マーチングコンテスト</b> 10月2日(日) 千葉ポートアリーナ			
小学生バンドフェスティバル	石川	浜田	
マーチングバンドの部 A部門中学校の部		大島	
B部門中学校の部		勝田二	岩瀬西
A部門高等学校以上の部		大成女子	常磐、明秀日立
<b>第41回全日本小学生バンドフェスティバル</b> 11月19日(土) 大阪城ホール 石川			

http://www.iba-sui.jp/

▶第57回茨城県アンサンブルコンテスト			
地区大会	(県東) 11月19日(土)、20日(日) 神栖市文化センター (県西) 11月19日(土)、20日(日) 結城市民文化センター (中央) 11月18日(金)~20日(日) 小美玉市生涯学習センター	(県南) 11月25日(金)~27日(日) 小美玉市生涯学習センター (県北) 11月12日(土)、13日(日) 常陸太田市民交流センター	
県大会	(高、大) 12月23日(金)、(中) 12月24日(土)、(小、職・一) 12月25日(日)	牛久市中央生涯学習センター	
	金賞	銀賞	銅賞
小学生の部 朝日賞 三の丸(CI四)	白方(金八)、笠原(金八)、三の丸(CI四)、 村松(管八)、村松(Sax三)、三の丸A(管 四)、笠原(金三)、常磐(打三)	常磐(金五)、三の丸B(管四)、笠原(打四)、 千波(金六)、白方(打四)、白方(金六)、水海 道(金七)、千波(木四)、村松(木八)、佐野 (打三)	佐野(管八)、水海道(金三)、佐野(管六)、 千波(打五)、大谷(管五)、外野(金六)、努 力:常磐(木五)
中学校の部門 朝日賞 下館南(木三)	大島(金八)、千波(FI三)、大島(木八)、並 木中等(CI四)、磯原(木八)、水戸二(CI五)、 下館南(木三)、古河二(Sax四)、泉丘(打 三)、泉丘(木六)、大島(打三)、水戸一(FI 三)、古河中等(打六)、常陸大宮二(打七)、 茨城(CI四)、中郷(Sax三)、下館南(打三)、 取手一(木三)、水戸一(木八)、多賀(管八)	取手二(CI三)、笠原(CI三)、伊奈(木八)、多 賀(打三)、水戸二(FI三)、古河中等(Sax 五)、並木中等(木四)、竜一附属(管八)、水 海道(木三)、藤代南(木六)、御所ヶ丘(木 三)、総和北(打三)、笠原(金八)、並木中等 (Sax四)、大久保(木八)、泉丘(金八)、水戸 一(金七)、千代川(管六)、勝田一(木八)、谷 田部東(打三)、茗溪(Sax三)、取手一(金 八)、境一(CI三)、千波(打三)、東部(打三)	日の出(木四)、古河二(木八)、谷田部東 (Sax四)、鹿野(打七)、伊奈(金五)、鹿島 (打四)、谷田部東(木四)、御所ヶ丘(金 五)、鹿島(Sax三)、鹿島(金八)、関城(打 六)、茗溪(金四)、鹿島高附属(打三)、鹿島 高附属(管五)、神栖二(CI三)、藤代南(Sax 四)
高等学校部門 朝日賞 常総学院(木六)	大成女子(FI六)、取手聖徳(木八)、常総学 院(木六)、水戸一(CI四)、常総学院(金 八)、取手聖徳(CI三)、水戸一(打三)、水戸 三(木八)、取手聖徳(金七)、大成女子(打 六)、大成女子(木八)、茨城(打五)、水戸女 子(金三)、明秀日立(打四)、水戸一(FI 三)、霞ヶ浦(金四)、古河中等(打五)	日立一(金八)、竜一(CI四)、明秀日立(木 五)、清真(Sax四)、並木中等(Sax四)、古河 三(CI六)、日立一(打四)、明秀日立(Sax四)、 竜一(金七)、水戸女子(CI三)、土浦二(FI 三)、日立一(CI六)、霞ヶ浦(打四)、日立北(打 三)、土浦二(Sax四)、土浦一(CI三)	鉾田一(管七)、古河三(金七)、八千代(木 三)、霞ヶ浦(管八)、下妻一(金八)、並木中 等(打五)、下妻一(CI六)、下妻二(木四)、 古河中等(Sax四)、鉾田一(金八)、東洋大 牛久(Sax四)、水海道二(打三)、鹿島(木 三)、多賀(金六)、古河三(打三)
大学部門 朝日賞 茨城(金八) 職場・一般部門 朝日賞 聖徳 WE(管八)	筑波(CI五)、茨城(金八) "Legend Of Dragon"(金四)、大成WE (木五)、水戸市民(木四)、聖徳WE(管八)、 聖徳WE(管七)、古河三中OB(FI四)	常磐(CI三)、常磐(Sax三) 古河シティ(CI七)、ひたちなか交響(Tp四)、 Ensemble Brillante(金六)、水戸交響(FI 三)、大成WE(金七)、古河シティ(打四)、阿見 吹(FI三)、取手交響(金四)、聖徳WE(打四)	常磐(金六) 水戸一高OB(Tb四)、光南WO(管六)、阿 見吹(Hn四)
第28回東関東アンサンブルコンテスト 令和5年1月28日(土)、29日(日) 相模女子大学グリーンホール			
小学生部門	村松(Sax三)	笠原(金八)、白方(金八)、三の丸(CI四)、村松(管八)	磯原(木八)
中学校部門	下館南(木三)、千波(FI三)	大島(金八)、並木中等(CI四)、水戸二(CI 五)、大島(木八)	水戸一(打三)
高等学校部門	常総(木六)、取手聖徳(木八)	取手聖徳(CI三)、水戸一(CI四)、常総(金 八)、大成女子(FI六)	
大学部門	茨城(金八)	筑波(CI五)	
職場・一般部門	聖徳WE(管八)、"Legend Of Dragon"(金四)	水戸市民(木四)、聖徳WE(管七)、古河三中 OB(FI四)、大成WE(木五)	
第46回全日本アンサンブルコンテスト 令和5年3月19日(日) アクトシティ浜松			
高等学校部門			常総学院(木六)
職場・一般部門	聖徳WE(管八)		

「多様な人々の交流と多彩な文化が織りなす、ひと・まちが輝くステージ」という基本理念のもと、最大2000席となる大ホールを核に、482席の中ホール、大ホールの舞台と同規模の平土間の小ホール、その他スタジオや会議室等を併設した最新の設備が整う施設です。各団体にお



※画像はステージから見た大ホール客席

水戸市民会館

新たな名演・熱演を!

これまで吹奏楽コンクールで数々の名演・熱演が繰り広げられたザ・ヒロサワ・シティ会館(茨城県民文化センター)には、その瞬間の思い出を多くの人がもっているのではないのでしょうか。

和令5年度からは7月に開

館する水戸市民会館が新たな吹奏楽コンクールの会場となりま

ではこの大ホールステージでの演奏を目指して、練習に励んでいただきたいと思います。

新たな名演・熱演がこのホールに響き渡る、そんなことを考えるだけで胸が高鳴ります。

**令和4年度県吹連後援 演奏会の記録 (加盟団体のみ)**

月	団体名	演奏会名	月	団体名	演奏会名	
4月	県立並木中等教育学校	第24回定期演奏会	1月	県立土浦湖北高等学校	第3回定期演奏会	
	県立日立第一高等学校・附属中学校	第48回定期演奏会		水戸交響吹奏楽団	ファミリーコンサート2023	
	県立緑丘高等学校	第14回定期演奏会		県立守谷高等学校	茨城県立守谷高等学校吹奏楽部&星友会吹奏楽団	
5月	県立水戸第三高等学校	第26回定期演奏会		茨城工業高等専門学校	NEW YEAR CONCERT 2023	
	茨城高等学校・大成女子高等学校	第7回ジョイントコンサート		リベルタ ウィンズ	第12回定期演奏会	
	ひたちなか交響吹奏楽団	第25回定期演奏会		結城吹奏楽団	第23回定期演奏会	
	県立水海道第一高等学校	第28回定期演奏会		2月	水戸市民吹奏楽団	第45回定期演奏会
	県立水戸桜ノ牧高等学校	第28回定期演奏会			古河シティウインドオーケストラ	第13回ウインターファミリーコンサート
	土浦吹奏楽団	第11回定期演奏会		3月	常磐大学吹奏楽団	第38回定期演奏会
	阿見吹奏楽団	第38回定期演奏会			水戸市内原吹奏楽団	第10回サンクスコンサート
	水戸交響吹奏楽団	第25回定期演奏会	筑波研究学園都市吹奏楽団		午後の演奏会5 ～音楽一備にお出かけ～	
	日立市民吹奏楽団	第38回定期演奏会	しもだて吹奏楽団		40周年メモリアルコンサート	
	6月	県立太田第一高等学校	第27回定期演奏会		大成女子高等学校	第9回フレッシュバンドコンテスト
県立伊奈高等学校		第28回定期演奏会	県立土浦第二高等学校		第24回定期演奏会	
取手交響吹奏楽団		創団20周年記念第20回定期演奏会	古河市立三和北中学校		第20回定期演奏会	
大成女子高等学校		第54回定期演奏会	聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校		第34回定期演奏会	
古河シティウインドオーケストラ		第25回定期演奏会	県立古河第一高等学校		第10回定期演奏会	
7月	常陸太田市内中学校吹奏楽部合同演奏会実行委員会	第26回常陸太田市内中学校吹奏楽部合同演奏会	4月		ひたちなか市立勝田第一中学校	第39回定期演奏会
	ソシアスクラリネットアンサンブル	ファミリーコンサート2022【10周年記念】		県立水海道第一高等学校・附属中学校	第29回定期演奏会	
	県立境高等学校	第23回定期演奏会		常磐大学高等学校	第31回スプリングコンサート	
古河吹奏楽団	第52回定期演奏会	県立那珂高等学校		第28回演奏会		
8月	県立古河第三高等学校	第45回定期演奏会		愛♡I Wind Orchestra	第12回定期演奏会	
	下妻市立下妻中学校	第14回定期演奏会		常陸太田市民吹奏楽団	第39回定期演奏会	
9月	水戸市内原吹奏楽団	第11回定期演奏会		5月	県立水戸第一高等学校	第47回定期演奏会
10月	筑波研究学園都市吹奏楽団	第36回定期演奏会			清真学園高等学校	第35回定期演奏会
	県立伊奈高等学校	オータムコンサート2022			筑西市立下館南中学校	第4回定期演奏会
	水戸シンフォニックアンサンブル	第36回定期演奏会			県立藤代高等学校	第40回定期演奏会
11月	ひたちなか市民吹奏楽団	第38回定期演奏会	県立牛久栄進高等学校		第31回定期演奏会	
	ひたちなか交響吹奏楽団	クリスマスコンサート2022	日立市立多賀中学校		第16回定期演奏会	
	筑波大学吹奏楽団	第88回定期演奏会	茨城大学吹奏楽団		第64回定期演奏会	
12月	日立市民吹奏楽団	ポップスコンサート2022	県立竹園高等学校		第38回定期演奏会	
	茨城大学吹奏楽団	'22冬の演奏会	県立竜ヶ崎第一高等学校		第46回定期演奏会	
	県立水戸第三高等学校	クリスマスコンサート				
	茨城高等学校・中学校	第63回定期演奏会				

**編集後記**

広報委員長 古谷 讓

令和4年度吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストの運営面では、感染予防対策を講じながら、有観客での開催ができ、各事業部・各地区の報告からも、今後に向けての明るい兆しを感じました。

一方、部活動改革はじめ、教職員の働き方改革の流れが、次第に本連盟の活動や運営にも影響を及ぼし始めていることも、今回の寄稿から感じます。

これまで、音楽を通して培ってきた人間関係をそして、感動を共有するといった成長過程での様々な場面をどう紡いでいくのか、考えさせられました。

皆様には、「吹連いばらき」本号を読んで頂き、生涯にわたる音楽文化に親しむ心を育成するための活動を共に考えていければ幸いです。

本連盟が、色々な意味でも「カギ」となる存在であるよう頑張りたいと思います。

最後になりましたが、本号の原稿依頼に、こころよくご協力くださいました皆様方に感謝申し上げます。

広報委員

佐々木孝明 (県東地区長)

古谷 讓 (県南地区長)

古井 忍 (県西地区長)

和田 秀彦 (県北地区長)

仁平 良治 (中央地区長)

和田 瑞枝 (事務局職員)